

本誌は、新着図書案内はもちろん
 展示コーナーで紹介している本なども含め
 さまざまな本のPRを行います。

プロメテウス

読書はいかがですか？

「本」はあなたに寄り添ってくれる、頼れる友人のようなものです。様々なことを教え、与えてくれるとともに、ときに不安や孤独を癒してくれるものです。新たなスタートを切った“今”、高校生活の過ごし方の一つとして、読書はいかがですか。ちょっと読んでみようかなと思ったら、図書館へ、足を運んでみて下さい。さて今号では、5月中に入った新着図書を紹介します。

展示コーナー① **本屋大賞 2020**

今年度の本屋大賞のコーナーを設置しました。図書館には、第1位～第6位とその他部門の大賞作品があります。

2位 『ライオンのおやつ』

凧良ゆう著 東京創元社

3位 『線は、僕を描く』

砥上裕将著 講談社

4位 『ノースライト』

横山秀夫著 新潮社

5位 『熱源』

川越宗一著 文藝春秋

6位 『medium 霊媒探偵城塚翡翠』

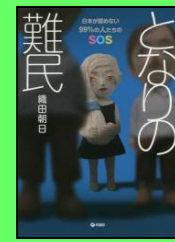
相沢沙呼著 講談社

図書のリクエスト 随時受付中！

図書館にない本で、読みたい本があるときは、リクエスト制度を活用下さい。

『となりの難民 日本が認めない99%の人たちのSOS』

織田朝日著 旬報社



「日本で生きていったって明日はない」16歳の少女からの一言にショックを受け、日本の難民問題に携わるようになった著者。日本の難民事情や支援の様子が描かれた一冊。

『貧しい人を助ける理由 遠くの子とあなたのつながり』

ヒューム著 日本評論社



日本人さえ豊かでいればいいのか？私たちと「遠くの子」のつながりが、密接に多岐にわたることを、豊富な実例で語る一冊。「国際開発」から「グローバル開発」へと著者は説く。

『農業を株式会社化するという無理 今後の農業論』

内田樹〔ほか〕著 家の光社



「農業にも生産性を」というが、生産性が低いのが農業であると著者の一人は語る。「この道しかない」ではなく、5人の著者が考える「これからの農業」が詰まった一冊だ。

『流浪の月』

凧良ゆう著 東京創元社



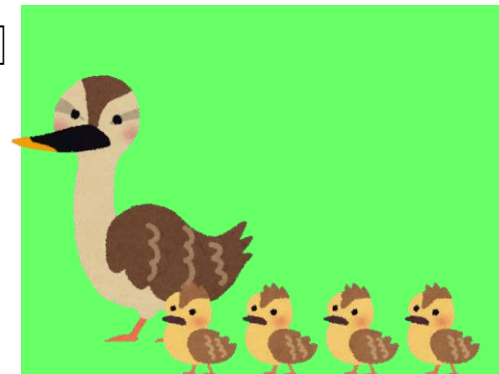
事実と真実は違う。幼い頃の誘拐事件のイメージを持たれたまま“かわいそうな被害者”として生きる更紗。しかし更紗にとって、それは真実ではなかった。更紗にとって“加害者の彼”は一体どんな存在だったのか。既存の価値観でははかれない二人の関係とは？

『競技ダンスへようこそ 紳士と淑女のコロシウム』

二宮敦人著 新潮社



一橋大学体育会競技ダンス部での著者の実体験をベースに描かれた熱き一冊。楽しい記憶そして思い出したくない辛い記憶…。でも夢中になって踊った日々。



『逆境を突破する技術』

児玉光雄著 SBクリエイティブ



著者自身も逆境をバネに新しい道が開けたと言う。一流アスリートの多くも同じだ。逆境を克服するノウハウを、古今東西の文献や論文、著者の経験をもとに紹介した一冊だ。

『アーモンド』

ソン・ウォンピョン著 祥伝社



感情が感じられない高校生のユンジ。彼は喜怒哀楽愛悪欲を暗記して普通の子のようにみせるが、他人の感情が分からない。そんなユンジの前に現れた怪物のような同級生ゴニ。彼の感情が分からないながらも関わっていく中で、次第にユンジの人生が変わっていきー。

『デフ・ヴォイス 法廷の手話通訳士』

丸山正樹著 文春文庫



生活のため手話通訳士となった荒井。両親もろう者である彼の葛藤が、現在と過去、そして法廷通訳士として関わる事件を通して、浮かびあがり…。静かな叫びが聞こえる社会派ミステリー。

『思い出の修理工場』

石井朋彦著 サンマーク出版



うまく友達をつくれないう少女ピピが迷い込んだ、ふしぎな「思い出の修理工場」。元スタジオジブリのプロデューサーが書いたファンタジー小説。

『もっと知りたい刀剣 アート・ビギナーズ・コレクション』

内藤直子監修・著 東京美術



刀剣ブームで様々な本が出た。アプローチの仕方は様々。歴史性、物語性、地金学・武道。本書は鑑賞対象として刀剣とその外装を美術史の文脈で語る一冊だ。

展示コーナー

図書館内では図書委員や司書が、さまざまなテーマで本を紹介しています。定期的に変わるので、お楽しみに！

君に贈る本大賞（読売中高生新聞主催）

①『テーマ”友達とは？”』

全国の中学、高校の先生たちが、生徒に読んでほしいと思う本の投票によるランキング。毎年テーマが異なります。

図書館教育ニュースより（少年写真新聞）

②『ハックルベリー・フィンと人種差別』

名作『ハックルベリー・フィン』は、奴隷制度廃止前が舞台。ハックと奴隷ジムを中心に改めて差別を考えてみる

新入生へ 貸出できます！

新入生の皆さん、図書館利用ガイダンスは、5月中旬に行う予定です。くわしくは、別紙プリント「1年生図書館利用ガイダンス」をご覧ください。

ガイダンス前でも図書館は、利用できるので貸出を始め休み時間や昼休み・放課後に図書館で読書や学習、のんびり過ごしに、図書館へお越しください！！

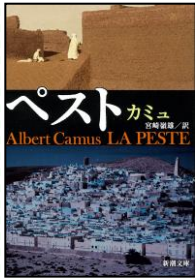


Pick up!

“今”だから読んでほしい
おすすめの本1冊（新着以外も含む）

『ペスト』

カミュ著 新潮文庫



**【人生は不条理としか
いいようのない出来事
にあふれている】**著者が
伝染病ペストを、不条理
が人間を襲う代表例と
考え、自らが生まれ育っ
た北アフリカのフラン
ス領を舞台に描いた世
界的な名作。

『困ってる人』

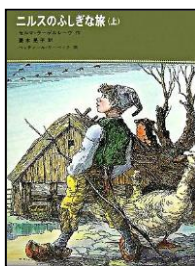
大野更紗著 ポプラ社



**【逆境に立ち向かう姿に、
いま元気がもらえる】**
原因不明の難病を発症し
た女子大学院生の日々
を描いた軽快なエッセ
イ。なんの病気かわか
らない困難な状況の中
、苦しみながら、とき
にユーモラスに立ち向
かう。

『ニルスのふしぎな旅 上・下』

ラーゲルレーヴ著 福音館書店



**【授業：3年現代文B
題材となっている小説】**
妖精にいたずらをして小
人にされたニルスは、ガ
チョウのモルテンやガン
のアツカたちとスウェー
デンの空を北に向かって
旅することに…。



新着図書



『できない男』

額賀滯著 集英社



仕事も頑張っている
んだけどパツとしない
男。かたや都会に住
む仕事ができる裕
紀。一緒に仕事をする
ことになった二人を
中心に、イマドキな
大人の男の葛藤が描
かれた大人の青春小説。

『グレタたったひとりのストライキ』

マレーナ・エルマン〔ほか〕著 海と月社



「気候のための学校スト
ライキ」で注目を集めた
グレタ。本書は、彼女
の母が書いた、ストライ
キに至るまでにあった
グレタと家族の物語だ。
グレタとの生活から得
た心境など、グレタの
姿を家族側から知る一
冊。

『「本の読み方」で学力は決まる 最新脳科学でついに結論』

川島隆太監修〔ほか〕 青春出版社



読書と学力って関係
あるの？読書はいい
ものなんだろうけど、
それはなぜなんだろう
と思った時、一度手
に取ってほしい。最新
脳科学で、読書の様々
な効果を実証した一
冊。

『本所おけら長屋①～③』

畠山健二著 PHP文庫



江戸おけら長屋で巻き起
こる騒動の数々を描いた
連作短編集。まるで落
語のように語られる本
作は、笑いあり、涙あ
り、オチありの人情ば
なし。読めば、長屋の
人々に心が温くなるシ
リーズだ。【富樫先生推
薦シリーズ】

『源氏物語 下』

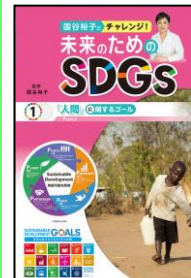
角田光代著 河出書房新社



【日本文学全集全 30 巻
完結】多くの現代語訳
がある源氏物語。訳者
角田光代は「読みやす
さ」「人物たちと感情
をリンクさせる」の2
つを意識して現代語訳
を行ったという。超大
作の本、全集完結の機
会に一読を。

『国谷裕子とチャレンジ! 未来のためのSDGs』

国谷裕子監修 文溪社



SDGsを「人間」「豊
かさ」「地球」「平和
とパートナーシップ」
の5つのキーワードに
わけて、わかりやすく
紹介した全4巻。SDGs
入門として、最適なシ
リーズである。

『ステップ』

重松清著 中公文庫



突然妻を亡くし、幼
い娘を一人育てるシ
ングルファザーの健一
。娘・美紀の幼稚園入
園から小学校卒業まで
の10年をメインに描
いた連作短編集だ。二
人は、悲しみにどう折
り合いをつけていくの
か。

『大人になる・社会をつくる』

横山正彦著 ちくまプリマー新書



【シリーズ子どもの貧
困最終巻】子どもの貧
困が社会問題となっ
て10年。本シリーズ
では子供の貧困を議
論する枠組みを提供
するものだ。

『ザリガニの鳴くところ』

ディーリア・オーエンズ著 早川書房



湿地で起きた殺人事
件。疑われたのは湿地
の少女カイア。彼女は
幼い頃、家族に置き去
りにされ、たった一人
孤独に生きてきた。そ
んな彼女に向けられ
る疑惑の目。結末で
明かされる真実とは？

継続購入図書

下記レーベルを継続購入しています。
岩波新書、岩波ジュニア新書、ちくまプリマー新書
館内「新書コーナー」に最近のものは別置されます。

『新大学でなにを学ぶか』

上田紀之編著 岩波ジュニア新書



高校での学びが勉強だとするなら、大学
での学びは探求である。また大学の学び
で大切なのは、勉強し、探求しながら、
ひとりひとりが「思い」に出会い、「思い」
を育てていくことだ。何を大切に生きて
いくのか、どのように生きていくか、大
学に行き、様々な思いに会いにいこう。

『きみのまちに未来はあるか? 「根っこ」から地域をつくる』

除本理史、佐無田光著 岩波ジュニア新書



住民の暮らしが長年積み重ねられてきた
結果として形成されたもの「コミュニ
ティ、土地、自然、街並み、景観、伝
統、文化など」といった根っこを自
覚し、開発や観光ではない方法で生
かす各地の試みを紹介した一冊。未
来へつづく地域づくりとは？

『英語バカのすすめ 私はこうして英語を学んだ』

横山正彦著 ちくまプリマー新書



著者の英語との出会い、学生時代の
英語にかけた熱い日々を描いた自伝
である。英語学習者のひとつのロ
ールモデルとして、英語バカな著
者の「英語バカへの道」、一読せよ！

『教育は何を評価してきたのか』

本田由紀著 岩波新書

『繊細すぎてしんどいあなたへ HPS相談室』

串崎真志著 岩波ジュニア新書

『「さみしさ」の力 孤独と自立の心理学』

榎本博明著 ちくまプリマー新書

新書コーナーにはその他新着も入っています！

近日公開

多くの映画が公開延期
となっています。現在
も公開日が決まってい
ない作品もありますが、
すでに入荷している
原作など、公開前
にいかがですか？

『若草物語』

偕成社

『続若草物語』

ポプラ社

オルコット著

「ストーリー・オブ・マイ
ライフ わたしの若草物語」
は、名作「若草物語」の
第1巻・第2巻を中心に
に映画化。

『鹿の王』

上橋菜穂子著 講談社

『燃えよ剣』

司馬遼太郎著 文藝春秋

『ステップ』

重松清著 中公文庫

『劇場』

又吉直樹著 新潮社

『星の子』

今村夏子著 朝日新聞出版

『罪の声』

塩田武士著 祥伝社

常設展示コーナー

メディア コーナー

映画・アニメ・
ドラマなど映像
化された作品の
原作があります